

進路だより



茨城県立那珂高等学校進路指導部

強い那珂高校, 強い那珂高生に！

① 強くあれ！

8月31日(木)の2学期始業式でもお話ししましたが、皆さんにはいろいろな意味で人生を「強く」生きて欲しいと思っています。進路指導の観点から言うならば…

1) 高い目標を持つ

意志あるところに道はできる。 “There is a will, there is a way.”

2) 目標を必ず実現させるという強い意志を持つ

「あの山に登れるかな？」ではなく「あの山に登るのだ」。

3) そのための具体的で合理的な方法を見いだす

しっかりとしたトレーニング。必要かつ十分な装備。

時間をかければ大体の山は登れる。時間がかかってもいいじゃないですか。

学力＝正しい勉強法×学習時間

真の学力の向上は人との競争ではない。タイムを競うものでもない。自分の中で完結すること。

4) 途中で上手くいかなくても投げ出さない。修正しながら努力を続ける

失敗こそ修正の好機。

正⇒反⇒合(正)⇒反⇒合(正)。歴史や人生はこの繰り返し(デカルトの弁証法)。

上記の1)～4)は目標を実現させる道のりとして、勉強以外の分野でも同じです。例えば部活動で強くなること。将来職業人として良い仕事をする事。

いま高校生の皆さんが勉強で試されるのにはちゃんとした理由があるのです。これから先の実社会でも上記のことができる人かどうか…が、今は勉強で試されているのです。

皆さんには、しなやかさと「強さ」をもって自分や組織を前に押し出すことができる人になって欲しいと思っています。



② 本質への気づき

私たち教師はみな、それぞれの教科を愛し、教科の面白さや学ぶことの奥深さを皆さんに伝えたいという欲求を原点に持って仕事をしています。皆さんが勉強に向かう最初の動機がたとえ他律的であっても(学校の試験があるから、入学試験があるから)、いつかは学ぶことの面白さや教科の本質的な理解にたどり着くはず。たとえその一端が垣間見えただけでも、それは人生の素晴らしい体験となるのではないのでしょうか。

③ 先輩も応援しています！

始業式でもお話ししましたが、今年度的那珂高パンフレットに寄稿してくれた大竹達也君(瓜連中出身・元弓道部)の言葉を改めて紹介します。彼は、将来は地域社会に貢献できるシステムエンジニアになりたいと、猛勉強を経て国立北見工業大学へ合格・進学しました。人間的にも立派な人物です。大学院への進学も視野に入れています。そんな彼も、高校2年の時にはそれまでの自分を変えるために、持っていたゲームのソフトやアプリをすべて処分、消去したそうです。(囲み内は本人の文章を引用)

私が皆さんに伝えたい事は、「勉強は面白い」という事です。かく言う私自身も、以前はあまり勉強が好きではありませんでした。ですから、皆さんの「いや、つまらないでしょ」という気持ちも分かります。しかし、知らない事を知るというのは、案外楽しくて素晴らしいことなのです。この素晴らしさに気付くことが出来たら、学ぶことがより楽しく感じられるはずです。

まずは、何事にもチャレンジしてみてください。やってみなければ、面白いのかつまらないのか、本当の意味で知ることは出来ません。皆さんが苦手だと思っている数学や英語にしても、実はまだ「勉強をやっているつもり」にすぎないかもしれません。それらの勉強と本気で向き合ってみると、これまで思っていたよりも「面白い！」と感じられるかもしれませんよ。

先輩から後輩へ。これを読んでいる皆さんがまた先輩となって良きメッセージを後輩たちへ…。

そうして那珂高校をより強く！して行ってください。